

宜野湾市長 松川 正則 殿

宜野湾市議会  
議長 呉屋 等

### 宜野湾市議会からの政策等の提言について

本市議会においては、議会基本条例第 10 条に基づき、本市議会 8 回目となる「議会報告及び市民との意見交換会」を実施しました。

本年度は、4 年ぶりに会場において議会報告及び意見交換を実施し、直接市民から御意見を伺いました。また、インターネット等でも並行して御意見の聴取をさせていただきました。その結果、令和 5 年 4 月 28 日から 5 月 17 日の 20 日間で 133 件の市政等に関するさまざまな御意見、御要望をいただき、本市議会の政策討論会における協議を踏まえ、下記のとおり政策等として提言することといたしましたので報告いたします。

つきましては、当該提言の趣旨、内容等に御理解をいただき、その速やかな実施に向けて格別なる御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

また、そのほかの意見等についても、今後の市政運営の参考としていただきたく、議会の回答を付して申し送りすることといたしましたので、御参照いただきますようお願い申し上げます。（別紙参照）

### 記

#### 1. ペットボトル収集回数が増について

生活環境の変化に伴い、商品容器として使用されるペットボトルの割合は増加傾向にあると考えられ、回収日までの保管に苦慮しているとの声が寄せられている。

現在、本市のペットボトルの回収日は 2 週に 1 回となっているが、沖縄市や北谷町等の近隣自治体では週 1 回の回収を実施している状況に鑑み、本市でもペットボトルの回収を週 1 回実施していただきたい。

## 2. 市内公園におけるバスケットボールができる環境整備について

FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 の開催や琉球ゴールデンキングスの活躍により、本市においてもバスケットボールに対する関心が高まっており、市内公園においてバスケットボールができる環境を整備してほしいとの声が多く寄せられている。

これに鑑み、現在再編計画が進められている海浜公園へのバスケットボールコートを設置や、その他の市内公園においても、騒音等の問題解決を含め、バスケットボールができる環境整備を実施していただきたい。

## 3. 火葬場建設に向けた取組の強化・推進について

市内に火葬場がない現状に対し、今年度より火葬料等負担軽減事業を実施し、市民負担の軽減を図っていること、また、今年度より火葬場建設等検討プロジェクトチームを設置し、火葬場建設に向けた調査研究やその間の市民負担軽減に取り組んでいることは市議会としても評価している。

その上で、火葬場がないことによる市民負担は多大なものがあり、火葬場建設を望む市民の声は年々増加していることに鑑み、早期の火葬場建設実現に向け、より一層の取組の強化・推進をお願いしたい。